

オリンピック
7月23日(金)～8月8日(日)

パラリンピック
8月24日(火)～9月5日(日)

辰己選手が出場する男子カヤックは
予選：9月2日(木)
決勝：9月3日(金)

●東京大会で初採用された新競技にも注目

東京大会では、オリンピック、パラリンピックともに、新たな競技が採用となりました。

オリンピックでは「空手」「スケートボード」「スポーツクライミング」「サーフィン」の4競技を新たに加えた33競技339種目、パラリンピックでは「バドミントン」「テコンドー」の2競技を新たに加えた22競技539種目が行われます。

また、オリンピックでは「野球・ソフトボール」が開催都市提案の追加種目として選ばれ、正式種目としては採用されなかったものの、2008年以来、3大会振りの実施となります。



懸垂幕が掲示されています

辰己選手のパラリンピック出場内定を祝い、応援の気持ちを込めて懸垂幕を作成しました。

懸垂幕は競技終了まで役場南側に掲示されています。

激励会を行いました

6月8日(火)、辰己選手と映像を繋ぎ、リモート形式にて激励会を行いました。

代表内定が決まった率直な気持ちについて、辰己選手は「今までやってきたことが最高の結果になって、パラリンピックに繋がった。このままやりきるだけです」と話し、文字町長、村井教育長、スポーツ協会の加藤会長からは「悔いのないように。町民を挙げて声援を送ります」と激励の言葉が送られました。



辰己選手からメッセージ

「ここが大好きで、住み始めて十数年になります。まちの人たちにも支えられ、ここに住みながら競技を続けられています。応援よろしくお願いします」

みんなで
応援しましょう！

特集

応援しよう！ 倶知安のアスリート

(一社) 日本障害者カヌー協会

●倶知安在住辰己選手 パラリンピック代表決定

5月13日(木)、ハンガリーのセゲドで行われた東京パラリンピック世界最終予選を兼ねた大会において、倶知安在住の辰己博実選手が男子カヤックシングル200㍎(運動機能障害KL2)で9位入賞を果たし、東京パラリンピック代表に内定しました。

●前回のリオ大会で初採用 カヌー競技とは

カヌー競技には「カヤック」と「ヴァー」の2種目があり、2016年のリオ大会で初めて実施されました。

「カヤック」は両側に水かきのついたパドルを左右交互にこいで前に進みます。「ヴァー」は浮き具付きのカヌーに乗り、片側にだけ水かきのついたパドルで左右どちらかをこぎ、200㍎の着順を競うものです。

リオ大会ではカヤック種目のみ実施されましたが、東京大会からはヴァー種目が追加となりました。

たつみ ひろみ
辰己 博実

カヌー・スプリント 男子カヤックシングル (KL2)



1977年7月12日生まれ。徳島県出身。アウトドア好きが高じて2003年に倶知安町に移住。ラフティングツアーなどのガイドを務めていたが2008年にスノーボードの事故で脊髄を損傷。

2011年にパラカヌーを始め、2015年の世界選手権では23位。今年5月の東京パラリンピック世界最終予選を兼ねた大会で9位の結果を残し、東京パラリンピック日本代表となった。

スポーツの好きなところ
今頑張っていること
これからの目標などを聞きました

スポーツを頑張る くっちゃん子

現在、町には13のスポーツ少年団が存在しています。地域の人々の協力のもと、学校も年齢も異なる子どもたちが互いに協力しあい、切磋琢磨しながら成長できる少年団活動は、子どもたちだけでなく、地域にとっても大きな役割を担っています。

しかし、近年では、指導者不足に悩む団体や、団員不足のため、合同チームを結成し、大会に参加する団体も見られるようになりました。

スポーツ少年団は競技力の向上だけでなく、青少年の健全な人間形成、ジュニア・リーダー育成の場としての側面も持っています。子どもたちの学びと活躍の場を今後も残していけるように、目標に向かって頑張るくっちゃん子と一緒に応援しましょう。



倶知安バレーボール少年団

小学2～6年生 18名

古山 果歩 さん (小学6年)
「アタックが決まると嬉しいです。強いサーブが打てるようにこれからも練習していきたいです」



松田 桃果 さん (小学6年)
「仲が良く、助け合ってプレーができるチームです。前回の試合は1勝1敗だったので、次の試合はみんなでボールをつないで全勝したいです」



倶知安スイミングクラブ

小学1～高校2年生 14名

篠崎 米 さん (高校2年)
「お互いに声をかけ、励ましあえるのがクラブの良いところです。全道大会では目標タイムを切れるように、限られた練習を大切にしていきたいです」



松岡 希実 さん (小学2年)
「みんなと楽しく練習して、背泳ぎで25分泳げるようになりました。大会に出られるようにこれからも練習を頑張ります」



倶知安ソフトボール少年団

小学2～6年生 10名

北川 隆介 さん (小学6年)
「キャッチャーとして、ピッチャーの球速やコントロールが良くなるとやりがいを感じます。今年はまだ勝利がないので次の試合では勝ちたいです」



本間 ののみ さん (小学5年)
「元気で仲良く、みんなで励ましあえるチームです。バウンドなどの難しい球も捕れるように、これからも練習を頑張っていきたいです」



倶知安バスケットボール少年団

小学1～6年生 29名

近藤 芽生 さん (小学6年)
「明るく仲の良いチームです。最上級生として、下級生に分からないことを教えてあげたり、みんなのお手本になりたいです」

長谷川 梓 さん (小学6年)
「シュートを決めたときの歓声や盛り上がるのが好きです。次の大会では、みんなでボールを回すことを心がけて頑張ります」



倶知安ジュニアFC少年団

小学1～6年生 43名

大津 佑京 さん (小学6年)
「自分にできることをしっかりとやって、キャプテンとしてみんなをまとめていきたいです」



八巻 来龍 さん (小学6年)
「周りを生かすプレーができるように頑張っています。最後の年なので次の大会では優勝したいです」



倶知安バドミントン少年団

小学1～中学3年生 38名

木村 敬太 さん (中学2年)
「少年団では、みんなで声を掛け合い、元気に活動しています。団体戦で全道大会に出場するので、仲間と協力して頑張りたいです」



時田 弥人 さん (小学6年)
「日々、技術を高められるように練習しています。高い目標をもって大会に臨み、全道、全国で活躍したいです」



倶知安剣道スポーツ少年団

小学1～中学2年生 10名

下村 紘乃 さん (小学6年)
「目標に向かって、みんなで励ましあいながら活動しています。次の大会では団体戦で勝てるように練習を重ねていきたいです」



金崎 透真 さん (中学2年)
「基本の練習や体力づくりに力を入れています。昇段試験に向けて、これからも練習を頑張っていきたいです」

